

令和2年度進捗評価シート
大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）
（最終変更 令和3年3月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業	3
2 一般国道7号(豊町地区・長倉地区・桂城地区)電線共同溝整備事業	4
3 主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業	5
4 主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業	6
5 道路美装化整備事業	7
6 大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	8
7 桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業	9
8 大館神明社保存補修事業	10
9 歴史的町なみ調査事業	11
10 秋田犬情報発信拠点整備事業	12
11 大館神明社周辺環境整備事業	13
12 歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業	14
13 大館城下の町名標柱整備事業	15
14 まち歩きマップ作成事業	16
15 趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業	17
16 歴史案内人育成事業	18
17 小・中学校社会科副読本作成事業	19
18 無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	20
19 地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)	21
20 天然記念物(秋田犬)保存及び育成支援事業	22
21 伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業	23
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	24
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境整備事業、防災に関する取り組みなど	25
3 文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	26
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 青ガエル関連記事(2件)	27
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 シビックプライドの醸成に繋がる地域コミュニティプロジェクトの継続	28
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	29

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
計画実施のための組織体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の推進体制は、建設部まちづくり課が事務局を務め、庁内の経営会議や、関係課で構成する検討会等と連絡調整を行う。また国や県と協議を行い、助言や支援を得るとともに、大館市歴史的風致維持向上協議会において、計画の推進や計画変更、事業の推進について協議を行う。必要に応じて、文化財所有者や関係団体と協議や調整を図り、都市計画審議会や文化財保護審議会等への報告や助言を得ていく。

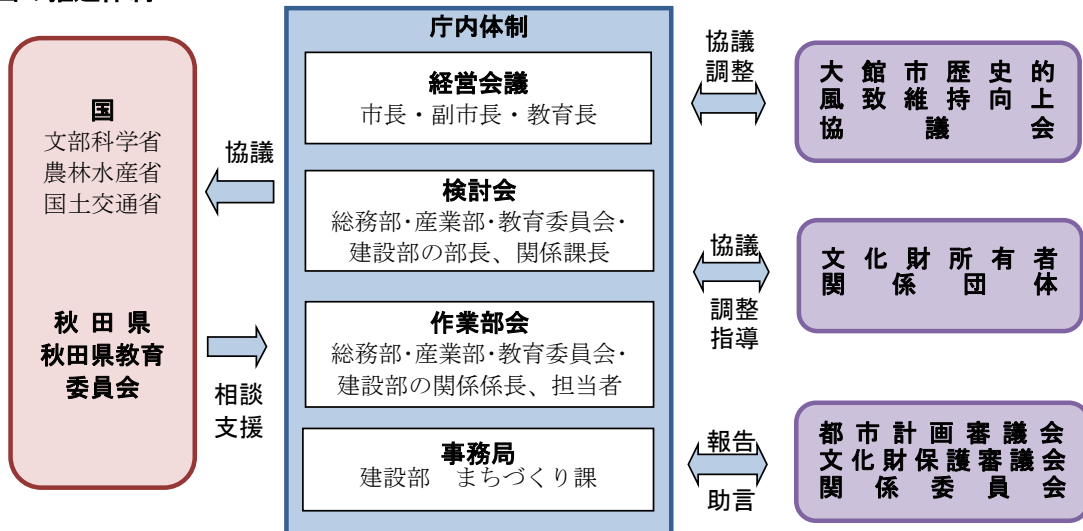
定性的・定量的評価(自由記述)

大館市歴史的風致維持向上計画の変更認定申請にあたり、大館市歴史的風致維持向上協議会を開催し、協議を行った。あわせて、取り組み状況や具体化方策の進捗を報告するとともに、民間事業者が作成したPR動画等を紹介した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	市全体におけるまちづくりの推進にあたり、文化財保護、歴史研究会及びまちづくり協議会など各地域の関連団体と引き続き意見交換を重ねていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○計画の推進体制



○協議会等の開催状況

	名称	開催日
1	歴史的風致維持向上協議会	令和3年2月22日
2	都市計画審議会	令和3年2月24日(書面開催)
3	文化財保護審議会	令和3年3月17日
4	バリアフリーまちづくり推進協議会	令和2年6月19日(書面開催)、令和2年11月4日 令和2年12月11日、令和3年3月22日



歴史的風致維持向上協議会
(令和3年2月22日)北鹿新聞社提供



バリアフリーまちづくり推進協議会
(令和3年3月22日)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1)都市計画法との連携 (2)景観法との連携 (3)屋外広告物法との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 本計画の重点区域内で行う事業と連携しながら、構想を実現化するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民協働で愛着が湧き、誇りを持てるまち育てを推進する。近年の市中心部の空洞化や、少子高齢化による市街地を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成19年に策定したマスタープランにおけるまちづくりの課題や方針について見直しを図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

人口減少や少子高齢化が進む中、将来あるべきまちづくりの方針を示した平成30年度策定の「大館市都市再興基本計画」と連携しながら、高齢者や障害者が自立した快適な生活や活動の実現に向けて、施設の利用上及び移動上の安全性や利便性を確保するため、「大館市バリアフリーマスタープラン」を令和3年3月22日に策定した。

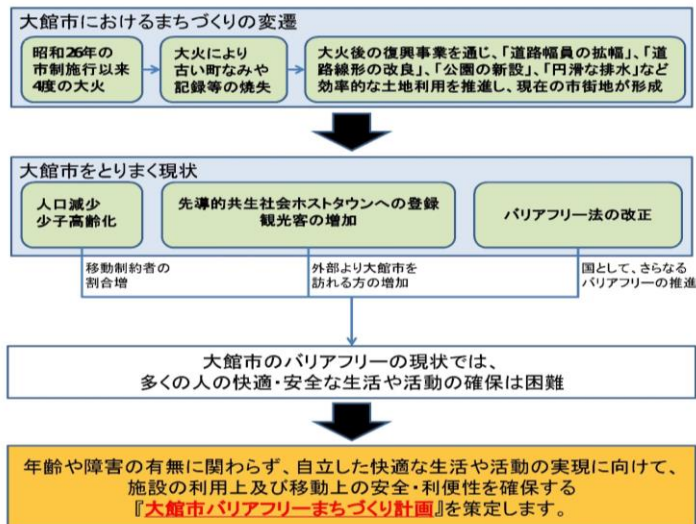
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	バリアフリーマスタープランの方針に基づき、バリアフリー基本構想を策定し、各種事業において連携を図り、実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

○良好な景観を形成する施策の策定スケジュール

都市計画マスタープランの見直し	平成30年度策定完了
立地適正化計画	平成30年度策定完了
地域公共交通網形成計画	平成29年度策定完了
都市計画道路の整備方針の策定	平成30年度～令和3年度
景観計画の策定と景観条例の制定	令和3年度以降予定
屋外広告物の設置規制や条例の制定	令和3年度以降予定

○バリアフリーマスタープランの策定



バリアフリーまちづくり計画の経緯と目的



ワークショップ・まち歩き点検(令和2年10月23日実施)

評価軸③-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
桂城公園(大館城本丸跡)修景整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大館城本丸跡は、堀と土塁の一部が往時の面影を残している。令和2年度に完成予定の新庁舎との調和や景観の一体化を図り、城址公園にふさわしい景観形成を目指す。堀や土塁の修景整備を行うとともに、更なる賑わいの拠点となる公園の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

・公園の景観を維持する芝生管理業務を継続して実施した。また環境美化活動として土塁の一部を整備した。
①公園の芝生管理(年4回)②土塁の環境美化活動
・桂城公園との調和を図る新庁舎の建設工事が完了し、既存公共施設解体跡地は、令和6年度末まで来庁者用の臨時駐車場として開放した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

桂城公園(大館城本丸跡)を城址公園にふさわしい景観形成を目指すにあたり、市民や関係団体等と意見交換を行い、桂城公園の修景について基本計画を策定する。

状況を示す写真や資料等

○桂城公園(大館城本丸跡)の通年維持管理



公園内の芝生管理(完了後)



土塁に繁茂している低木の整理(作業中)

○桂城公園(大館城本丸跡)と新庁舎との調和や景観の一体化



新庁舎の上階から撮影した桂城公園



市民体育館(解体跡地)
来庁者臨時駐車場として開放

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
一般国道7号(豊町地区・長倉地区・桂城地区)電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 道路関係/国直轄/電線共同溝事業

計画に記載している内容 一般国道7号は、城下町を通過するとともに、大館神明社例祭時には、御神輿巡行や山車運行の順路となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成29年度～令和元年度 令和2年度 令和3年度以降	下り線780m電線共同溝本体工事(管路)完了 下り線490m電線共同溝本体工事(管路)完了 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進
----------------------------------	---

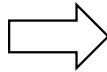
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

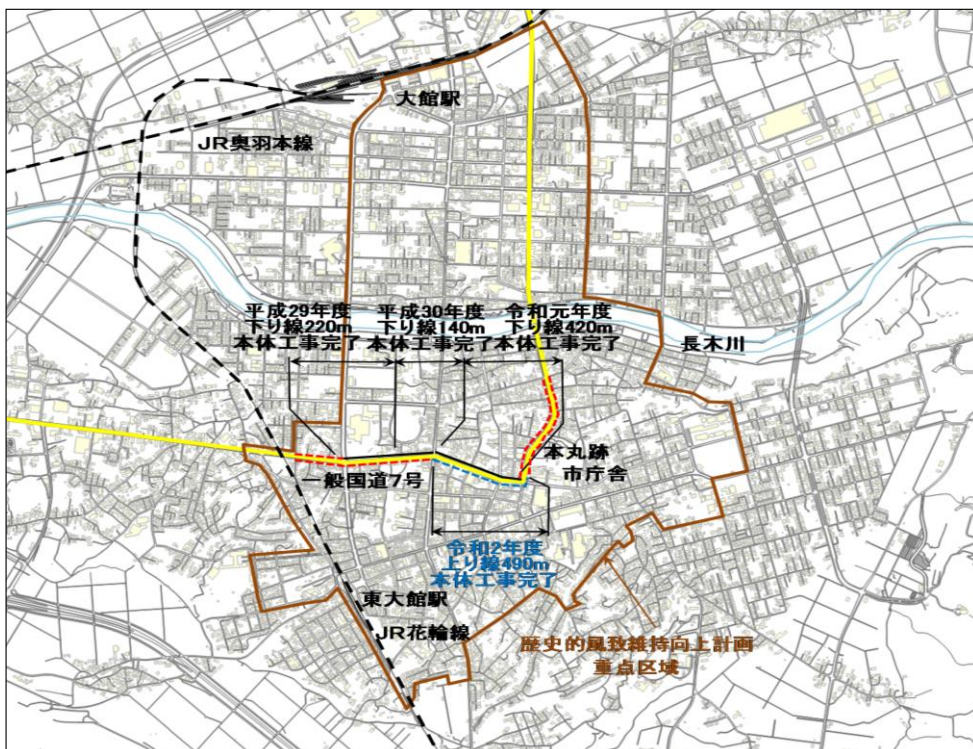
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
※歩道部舗装の美装化及び抜柱は
次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
主要地方道大館十和田湖線(御成町南地区)電線共同溝整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 主要地方道大館十和田湖線は、大館神社例祭時には山車合同運行の順路となり、また伝統行事の会場となっていることから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、歩道の整備と一体で無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度 下り線543.0m、上り線333.1m電線共同溝本体工事(管路)完了
令和3年度以降 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進

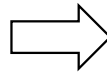
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 区画整理事業区域内のため、土地利用が流動的な箇所もあり、宅内引込管の位置を関係者へ確認しながら決定する。

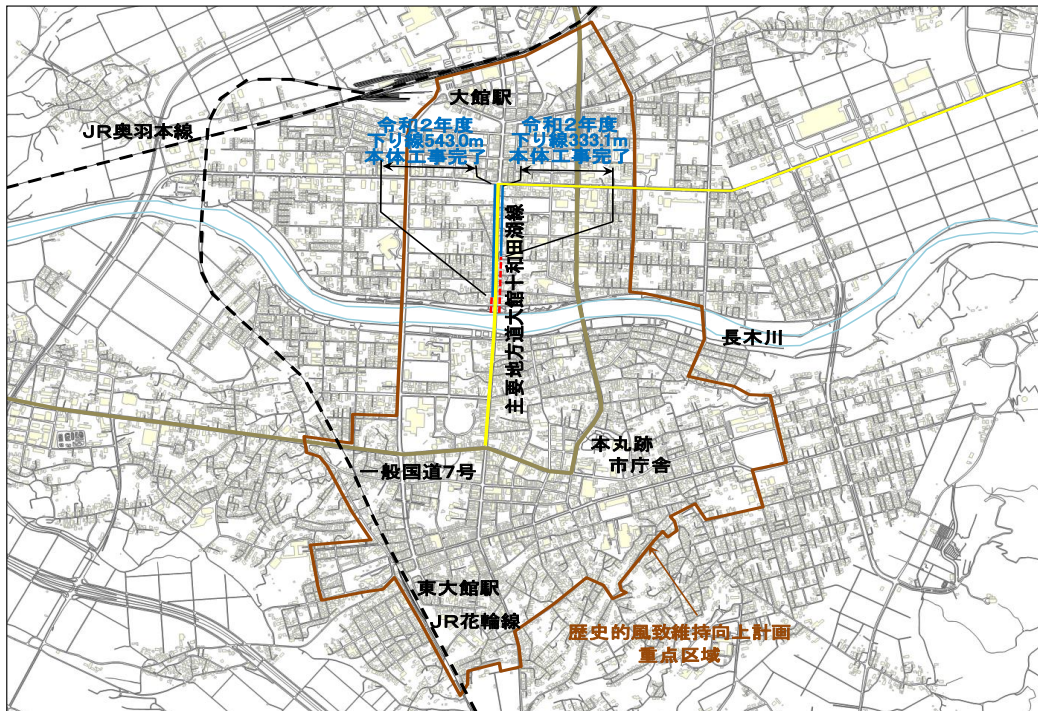
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
※歩道部舗装の美装化及び抜柱は次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
主要地方道大館停車場線電線共同溝整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和6年度

支援事業名 無電柱化推進計画事業

計画に記載している内容 主要地方道大館停車場線は、市の玄関口である大館駅に近接して、大館市観光交流施設「秋田犬の里」が整備されたことから、町なみの良好な景観や快適な歩行空間を確保するため、無電柱化の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度 上り線298.0m電線共同溝本体工事(管路)完了
 令和3年度以降 電線共同溝本体工事(管路・歩道)を推進

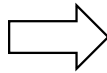
進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

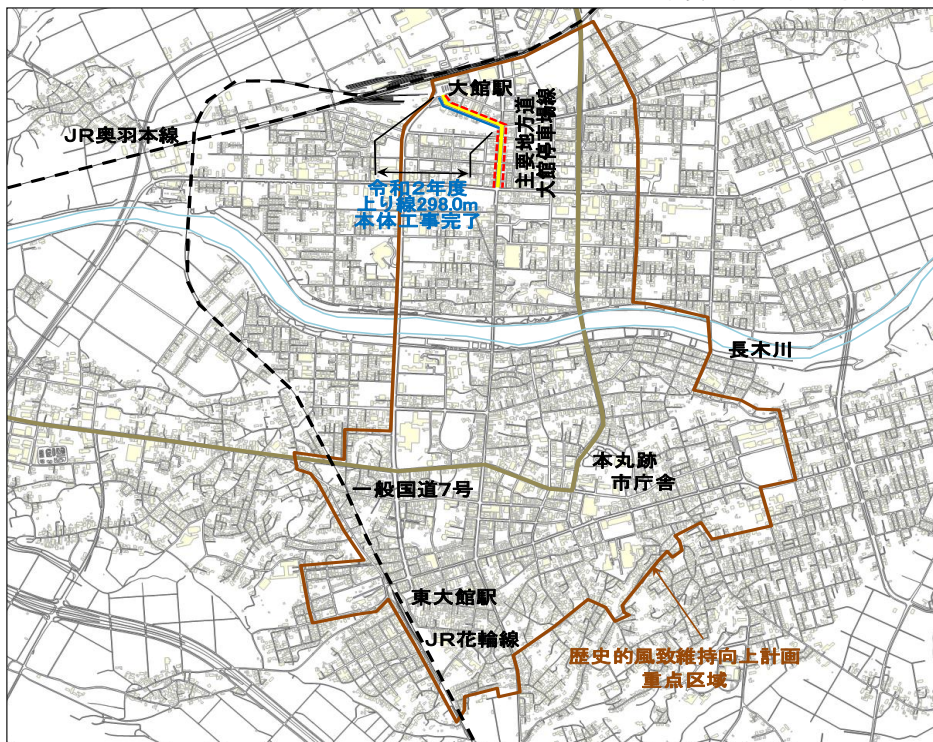
状況を示す写真や資料等



電線共同溝本体工事(着手前)



電線共同溝本体工事(完了後)
 ※歩道部舗装の美化化及び抜柱は
 次年度以降に施工予定



無電柱化整備箇所(位置図)

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
道路美化整備事業		現在の状況
		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業

計画に記載している内容
大館城下の町割りが残る市街地には、歴史的建造物が点在し、城下町特有の鉤型や袋小路の道路が入り組んでいる。城下町を巡るまち歩きをする際の、回遊性の向上を図るため、路面舗装の美化化を行う。また、街路樹の樹形を整えとともに、植樹帯の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)
幸町地区の桜並木通りの道路美化にあたり、前年度施工済の電柱統合修景及び道路構造物修景に引き続き、路面美化化が完了した。
また、三ノ丸地区の道路美化について、電柱統合修景にあわせ一部路側側溝の修景が完了した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和3年度から整備予定の三ノ丸地区及び神明町地区についても、電柱電線類の統合及び修景に向け、電信通信業者と連携を図り、整備を進める。

状況を示す写真や資料等

○幸町地区の桜並木通りの路面美化工事(完了)



幸町地区の桜並木通り
大正13年(1914)大正天皇の即位記念に植樹
料亭組合、地元住民が大事に守り育てている景観

○三ノ丸地区の電柱統合修景及び路側側溝修景工事(一部完了)



電柱統合移設前(道路両側に建柱)



電柱統合及び景観色鋼管柱を建柱

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
大館城跡周辺の土居・緑地保全事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 北側の市街地から大館城を望むと、東の重要文化財八幡神社から西の愛宕神社まで緑の斜面が続き、往時の面影を偲ぶことができる。引き続き、桜などの樹木を適切に管理し、良好な景観の維持を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館城跡の桜の樹勢回復のため、施肥の作業を行うとともに、樹形維持のため、造園業者により剪定を行った。あわせて、巨木のシロヤナギについて、保全に向けた対策の検討に着手した。
また、北側斜面にある樹木についても景観を保全するための作業を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

令和3年度の桂城公園修景基本計画策定に向け、城跡の土居や緑地保全について、市民の意見を聞きながら基本方針を決定する。

状況を示す写真や資料等

○大館城跡周辺の緑地保全



施肥作業状況(肥料投入)



公園内の樹木剪定作業



北側斜面の刈払い作業



シロヤナギの保全に向け、空師による調査

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
桜櫓館(登録有形文化財)保存補修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 個人が所有管理している登録有形文化財について、施設の市有化を図り、大事に管理されてきた建造物の保存補修を行う。また、市庁舎や桂城公園に隣接していることから、市民や来訪者が建造物を見学できる環境整備や多様な利用を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和元年度に実施した耐震改修工事実施設計に基づき、文化財的価値を損ねる事が無いよう配慮した工法で、建築工事及び電気設備工事が完了した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

文化財である建物を広く公開するとともに、更なる多様な利用を促進を図る。また、令和3年度の外構工事において、開放的な囲障に改修し、あわせてバリアフリーの通路を整備し、動線を確保する。

状況を示す写真や資料等

○耐震改修工事(作業状況)



新設補強柱梁組



2階壁解体



2階補強壁



檜屋根野地板(腐食状況)



屋根葺替え(一文字)



耐震金物取付



大広間鉄骨梁補強



2階天井復旧



外壁漆喰壁仕上げ

○建物の修景(サイディング張り外壁 → 下見板)



改修前



作業中



改修後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
大館神明社保存補修事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社は、藩政期から町人町の鎮守社であり、例祭は本市を代表する秋祭りとして受け継がれている。例祭が執り行われる本殿を含む建造物群の老朽化が進んでいることから、関係者と協議しながら建造物の文化的価値が失われないように保存補修に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述)

境内にある既存手水舎について、良好な景観形成を図るため、再構築した。あわせて、多目的駐車場からの通路を整備して、正面参道へのアクセスを可能とした。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

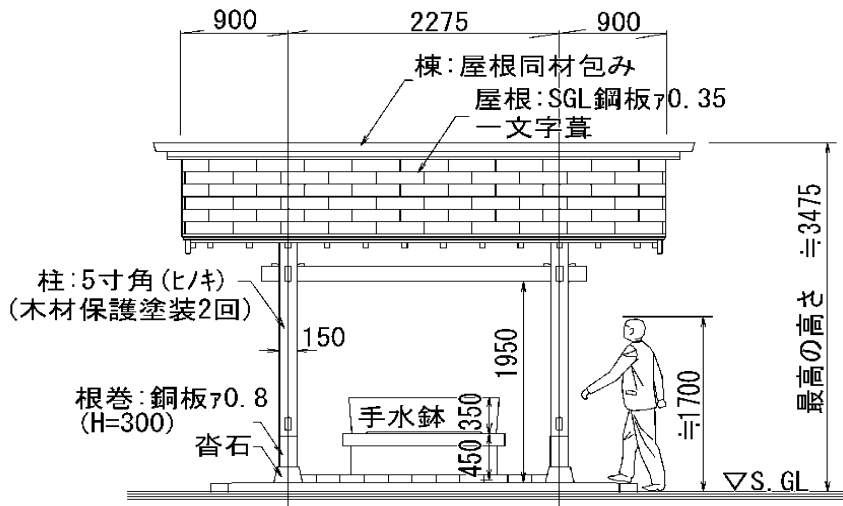
令和3年度以降に、手水舎について、人感センサーを設置し、自動給水を可能とする。

状況を示す写真や資料等

○手水舎の再構築(令和2年度施工完了)



手水舎改修工事(完成写真)



手水舎改修工事(完成断面図)

評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
歴史的町なみ調査事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和8年度
支援事業名	文化遺産総合活用推進事業 市単独事業

計画に記載している内容
 城下町を中心とする市街地には、度重なる大火を免れた歴史的建造物が残っているが、これまで十分な調査が行われず、詳細な内容が把握されていないため、建築様式などの詳細調査を行う。
 歴史的建造物などの建築工法の調査や修理には、高度な専門知識が必要であるため、ヘリテージマネージャーの育成を目指すとともに、その養成活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成30年度にヘリテージマネージャーの資格を修得した会員で構成する「大館歴史的建造物研究会」が令和2年度に歴史的建造物調査やスキルアップ講座などの活動を行った。
 ・歴史的建造物実態調査(3地区)、歴史的建造物詳細調査(1軒)、神社改修工事調査(1社)、スキルアップ講座(1回)

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ヘリテージマネージャー養成講座で、知識を修得した会員から構成する団体から、歴史的建造物の保全活用や、まちなみ景観等の推進に向け、引き続き一緒に取り組んでいく。

状況を示す写真や資料等

○大館歴史的建造物研究会(活動実績)

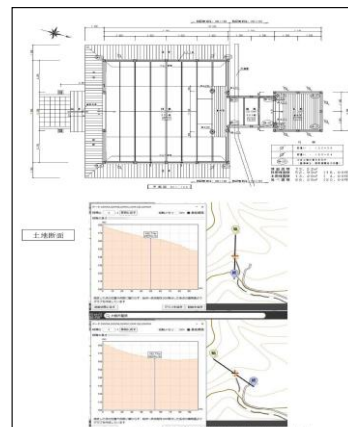
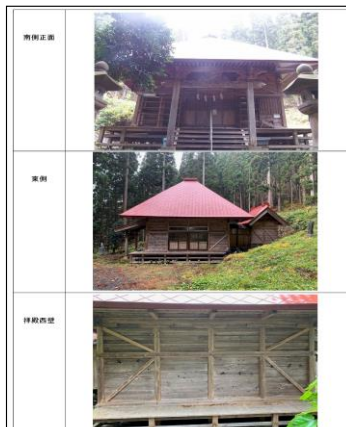
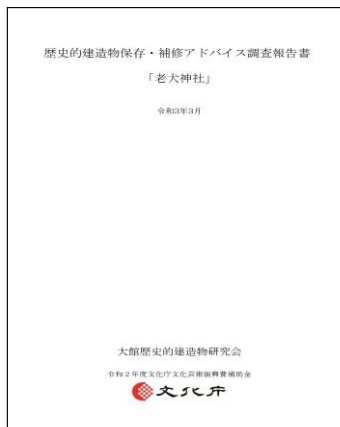
	実施日	調査等場所	活動内容
1	令和2年9月29日	麓家住宅	歴史的建造物詳細調査
2	令和2年10月17日	田代地区、大館西地区	地域別歴史的建造物調査(59軒)
3	令和2年10月26日	大館南地区	地域別歴史的建造物調査(15軒)
4	令和2年11月7日	老犬神社	歴史的建造物保存・補修提案調査
5	令和2年11月11日	桜櫓館	桜櫓館耐震改修現場研修会(約30人参加)



歴史的建造物詳細調査／麓家住宅
令和2年9月29日



桜櫓館耐震改修現場研修会
令和2年11月11日(約30人参加)



歴史的建造物保存・補修アドバイス調査報告書(老犬神社)

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
秋田犬情報発信拠点整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 秋田県市町村未来づくり協働プログラム(県補助)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市の玄関口である大館駅の駅前広場にある忠犬ハチ公銅像と秋田犬群像は、市民に親しまれ、来訪者を迎えている。毎年4月にハチ公の慰霊祭、10月に生誕祭が開催され、市民の活動が現在も続いている。大館市観光交流施設「秋田犬の里」の整備を行い、天然記念物秋田犬の歴史や文化を情報発信する。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市観光交流施設「秋田犬の里」に、多くの市民や来訪者が訪れた。(来場者数71,522人)
また、忠犬ハチ公の慰霊祭(4月8日渋谷区、5月8日大館市)と生誕祭(10月10日)を開催した。
忠犬ハチ公の縁で、渋谷区から譲り受けた青ガエルは、新天地の秋田犬の里に移送、一般公開後に、塗装の劣化を修復し、再設置が完了した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
------	--------------------------

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市民や来訪者が秋田犬に興味を持ち、飼育の情報などを交換する拠点となる施設運営を目指し、より秋田犬の魅力を発信する。

状況を示す写真や資料等

○忠犬ハチ公慰霊祭・生誕祭の開催



慰霊祭(令和2年5月8日)



生誕祭(令和2年10月10日)

○青ガエル“渋谷から大館に”



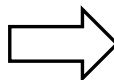
多くの人に見送られ、渋谷から出発(令和2年8月3日)



秋田犬の里に到着し、クレーン吊で設置(令和2年8月6日)



忠犬ハチ公銅像と青ガエル(渋谷ハチ公前広場)



新天地である秋田犬の里に修復後再設置された青ガエル

○大館観光交流施設「秋田犬の里」来場者数

令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日数	0	0	30	31	31	29	31	30	30	30	28	31	301
来場者数	0	0	6,219	8,299	12,492	9,740	9,476	9,064	4,531	2,524	3,919	5,258	71,522

※4月～5月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休館

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
大館神明社周辺環境整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 大館神明社の例祭では各講の大きな山車が、境内に参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えるとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路などを整備してその活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館神明社境内整備に向け、実施設計に基づき参道の美装化及び駐車場の舗装が完了した。この整備により、境内において大館神明社例祭余興奉納奉告祭の開催時に、曳山車が集結することが可能となった。

進捗状況

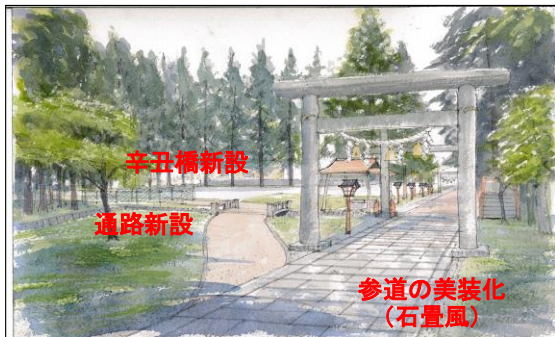
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

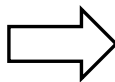
令和2年度に引き続き、境内の修景整備を進めるにあたり、周辺環境との調和を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館神明社参道の美装化及び駐車場舗装工事(令和2年度)



完成イメージ図



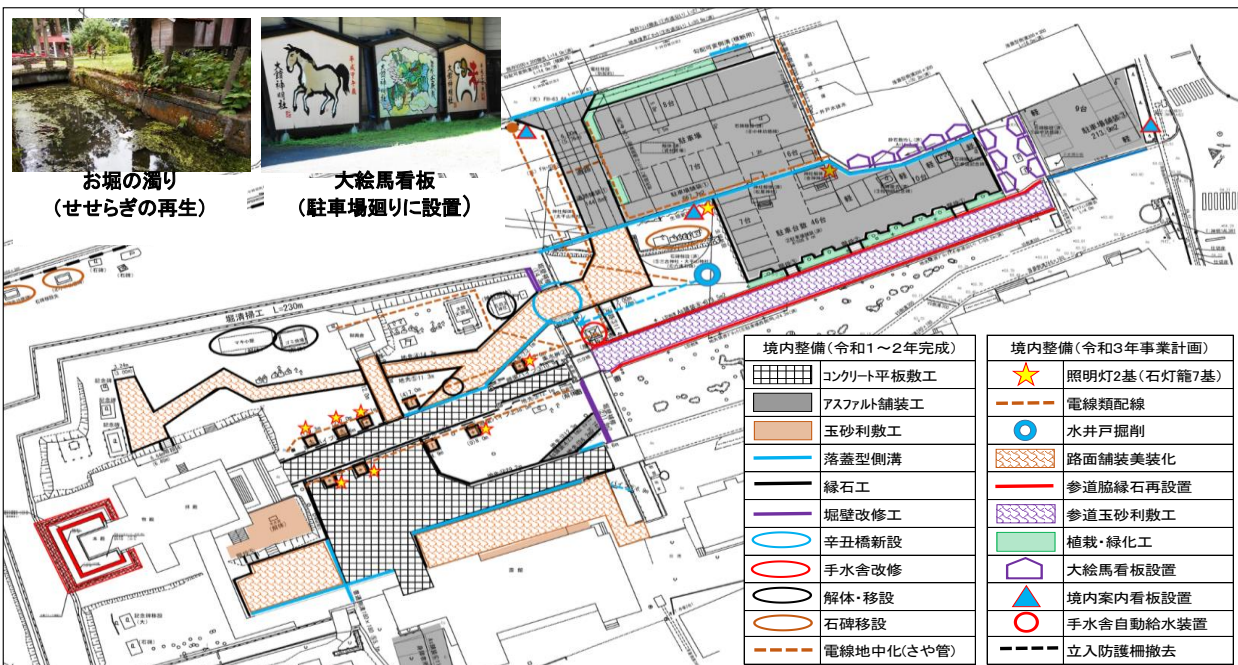
完成写真



お堀の湧り
(せせらぎの再生)



大絵馬看板
(駐車場廻りに設置)



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史的資源多言語表示案内板(史跡標柱)整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域に点在する歴史的資源への案内が不十分であり、また歴史的資源の管理者が不在の場合、市民や来訪者への対応が困難となっている。外国人観光客を含めた来訪者への対応として、多言語表示及びQRコード付の案内板や史跡標柱の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市どこでも博物館の会のホームページに、歴史的建造物や良好な景観を描写している田村まさよし氏の水彩画を掲載し、更新を行った。
・歴史的建造物 5軒

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○大館市どこでも博物館の会ホームページの更新(掲載例NO. 45旧料亭多美家)

昭和9年の大火後に再建されています。玄関に向かってまず目を引くのは破風下に取付けられた鷲をあしらった懸魚(げぎょ)と2階に並ぶ繊細なデザインの建具です。2階には8室の和室があり、それぞれが庭に面した廊下沿いに配置され、独立性を保つ工夫が見られます。客間は天井が高く、床脇には局面加工した地袋があるなど趣向を凝らした建物となっています。外部建具は床までの硝子戸と手摺がある造りで、硝子戸が引き込まれる戸袋の鏡板には一枚板が使われ、当時の贅沢な木材事情が窺われます。



(田村まさよし氏 水彩画)



鷲をあしらった懸魚と2階に並ぶ繊細な建具



廊下沿いに独立性がある客間



一枚板で造られた戸袋の鏡板

○大館市どこでも博物館の会(全体総会)

協議案件

- 令和元年度までの設置報告
 - どこでも博物館(史跡標柱整備)との連携継続
 - 令和元年7月末までの実績報告
 - 令和元年12月末までの実績報告
 - ホームページのデザイン
 - 大館城下ブラ散歩
- 今年度の標柱設置予定について
 - 令和2年8月末までに設置予定箇所
 - 標柱説明文について
- その他(情報共有)



全体総会/参加者17名
(令和2年7月14日開催)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
大館城下の町名標柱整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 市単独事業
計画に記載している内容	大館城下の名残がある町名は現在も数多くあるが、大館城の位置や規模のほか、町名の由来があまり認識されていないため、QRコード付の町名板の整備を行う。 まち歩きの見学性の向上を図るため、形状や意匠を統一する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成28年度より整備を進めているどこでも博物館(史跡標柱)と連携を図り、大館城下に残る町名標柱を12基設置した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大館城門跡や歴史的建造物等に設置した標柱を市民や来訪者が楽しんで巡る歴まち散歩ルートを設定する。

状況を示す写真や資料等

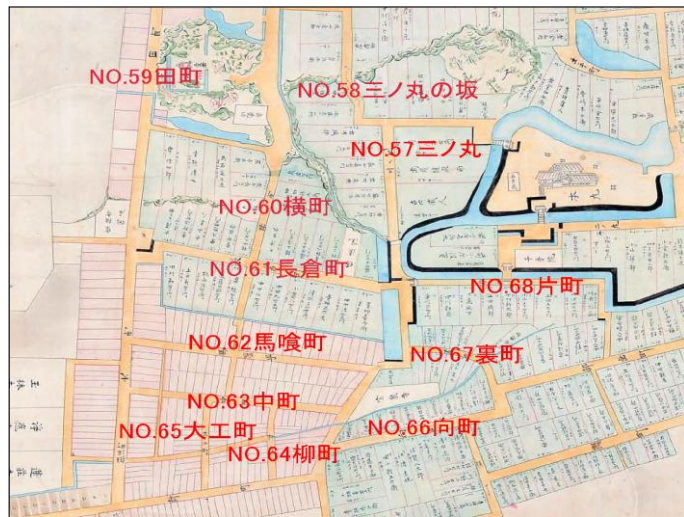
○どこでも博物館(史跡標柱)との連携

- ①かねてより整備中の「どこでも博物館」の標柱とデザインの統一化
- ②多言語翻訳(英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語)対応
- ③QRコードより詳細説明文、多言語翻訳及び写真等の情報を提供
- ④WEB情報を「どこでも博物館」のホームページに掲載



○令和2年度標柱設置箇所

NO.	標柱名称
57	三ノ丸 さんのまる
58	三ノ丸の坂 さんのまるのさか
59	田町 たまち
60	横町 よこまち
61	長倉町 ながくらまち
62	馬喰町 ばくろうまち
63	中町 なかまち
64	柳町 やなぎまち
65	大工町 だいくまち
66	向町 むかいまち
67	裏町 うらまち
68	片町 かたまち



大館城下町名標柱設置位置図(大館城下絵図)

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
まち歩きマップ作成			現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市民や来訪者が、城下町にある文化財や歴史的建造物を巡る際に利用できるまち歩きマップを作成する。		

定性的・定量的評価(自由記述)

大館市の歴史まちづくり“Civic Pride 市民の誇りとともに”パンフレットの在庫が少なくなったため、1,000部増刷し、主要観光施設に配布した。
JR東日本秋田支社つがる運輸区と連携し、4月～6月までの企画の大館駅からハイキング～食と歴史を堪能！大館街歩きコース～を設定した。

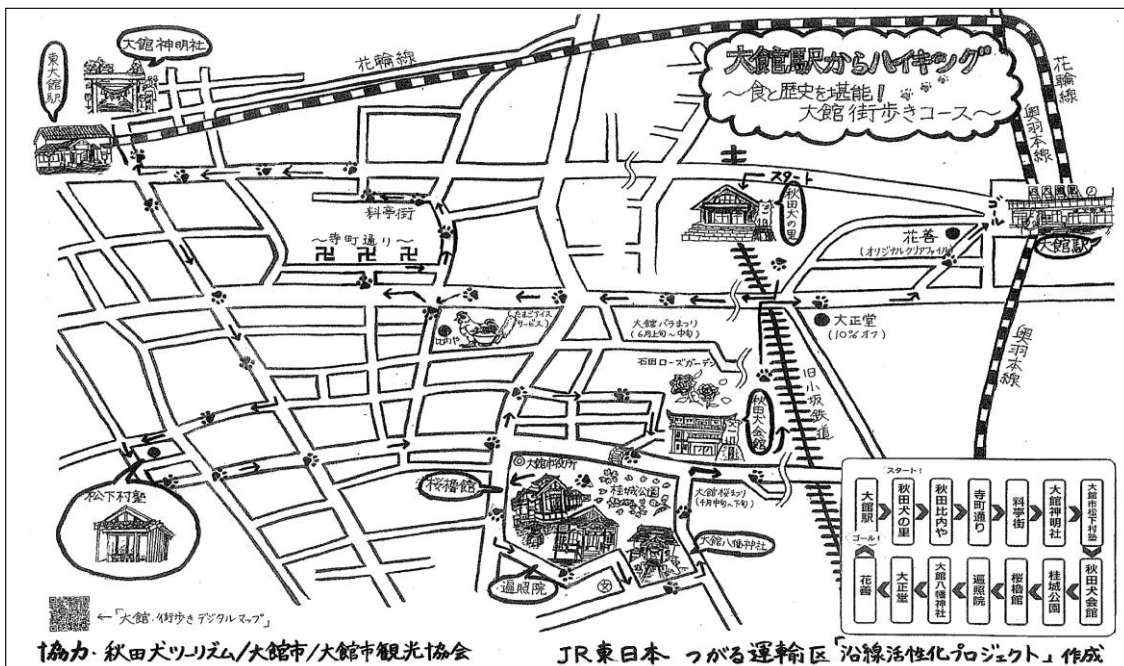
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	街歩きデジタルマップの検索情報の分析データを活用し、来訪者の回遊性の向上を図るとともに、近隣からの誘客につなげる。

状況を示す写真や資料等

○大館市の歴史まちづくりパンフレット



○大館駅からハイキング～食と歴史を堪能！大館街歩きコース～



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
趣のある風景・建造物ガイドブック作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市中心部にある城下町から離れた地域には、本市が誇るべき趣のある田園や山並みの風景、建造物などが数多く存在する。そこで、その地域における歴史や文化に光をあて、市民と一体となって、地域の魅力を発信できるガイドブックを作成する。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
ガイドブックの作成にあたり、「残していきたい大館の風景」をテーマに、第3回大館市歴史まちづくりフォトコンテストを実施し、46作品の応募があった。歴史的風致維持向上協議会で審査を行い、歴まち大賞1点、歴まち賞2点について表彰した。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ガイドブック作成にあたり、第3回までの応募作品について資料を整理するとともに、ホームページ等で広く情報を公開する。		
状況を示す写真や資料等			

○第3回大館市歴史まちづくりフォトコンテスト

テ ー マ	残していきたい大館の風景
募 集 期 間	令和2年5月7日～令和2年11月13日 ※コロナ禍につき、募集期間を延長
応 募 総 数	46作品
審 査 方 法	歴史的風致維持向上協議会
表 彰	歴まち大賞(1作品)、歴まち賞(2作品)



歴まち大賞
(星空に輝く／ニプロハチ公ドーム)



歴まち賞
(松峰神社の参道 朝霧)



歴まち賞
(大館八幡神社の元旦)

**第3回大館市歴史まちづくり
フォトコンテスト**

第2回歴まち大賞「枝垂桜満開」

テーマ
残していきたい大館の風景

応募期間
5月7日(木)～9月11日(金)

応募資格
プロ・アマ・年齢問いません。
一人何点でも応募できます!
撮影時期も問いません!

「徒渡り」(早口川)

「遠子森夕景」

「豊作」

お問い合わせ 大館市まちづくり課
TEL: 0186-43-7135
E-mail: rekisimat@city.odate.lg.jp

フォトコンテスト作品募集チラシ

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的案内人育成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民や来訪者向けに、地域に残る歴史的資源や歴史・文化について語ることができる案内人を育成するため、講習会や現地視察などの研修を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述)

小学生の地域体験学習、高校生の職場体験及び大学生のインターンシップ等の要請にあたり、研修内容に歴まち散歩を企画し、大館の魅力を伝える大切さをPRした。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○歴まち散歩 ～地域体験学習／小学生～
(令和2年7月13日、参加者8名)



重要文化財八幡神社
“地域の歴史を学ぶ”



国登録有形文化財桜櫓館
“歴史的建造物の保全を学ぶ”

○歴まち散歩 ～職場体験学習／高校生～
(令和2年8月3日、参加者3名)

大 館 歴 ま ち 散 歩

1. 日 時 令和2年8月3日(月) 13:00～14:30
2. 案内者 大館市 建設部 まちづくり課
3. 内 容 歴まち散歩をとおして当時の人々の生活や文化を知る。
4. 見学コース 江戸の絵図をもとに徒歩で見学する。

大館八幡神社	～	上町(遍照院)	～	桜櫓館	～	大館城・本丸跡(桂城公園)
13:10～13:30		13:40～13:50		14:00～14:10		14:15～14:30

◎見学ガイド

◎中世までの略歴

大館が「火内^{ひない}」という名前で歴史にはじめて登場したのは元慶^{がんぎょう}の乱(878年)です。平安時代後期には奥州藤原氏の支配を受け、鎌倉時代には浅利氏が治めました。

浅利氏は永正^{えいしょう}15年(1518)に浅利則頼^{のりより}が築いた十狐城^{とっこ}を本拠地に、大館城などの城館を広範囲に築いてこの地方を開拓しました。

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
小・中学校社会科副読本作成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和43年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 未来の大館市民を育成する「ふるさとキャリア教育」の一環として、小中学校の児童生徒が本市の歴史や暮らしについて、より理解を深めることができる分かりやすい社会科副読本を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述)

平成28年4月に発行した小学校3・4年 社会科副読本「わたしたちの大館市」を全面改訂するにあたり、社会科副読本編集委員会を組織し、教科書の改訂に伴う修正やふるさとキャリア教育に活用できる資料としての編集方針に基づき、改訂作業を完了した。

進捗状況

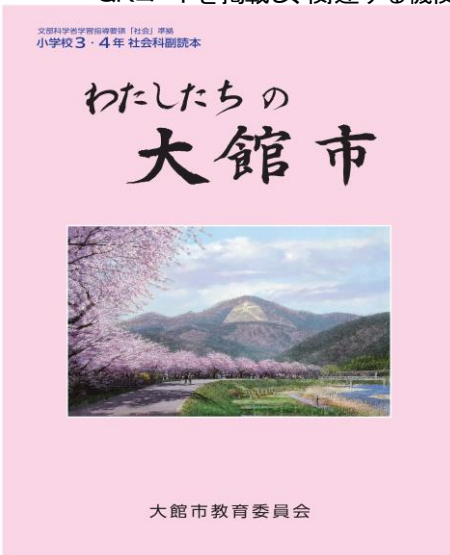
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○社会科副読本の編集方針

- ・教科書の改訂に伴う社会科副読本の全面改訂
- ・小学校3・4年生の社会科の学習に活用
- ・ふるさとキャリア教育に活用できる資料として
- ・QRコードを掲載し、関連する機関のホームページや動画にリンク



社会科副読本冊子(表紙)



上空からの画像の掲載について(一例) ドローンによる空撮画像の使用により児童が自校の周りを見られるようになっている

①ひとづくりのための取り組み例

▲子育て世代包括支援センター「さんまある」

▲女性センター 木育ひろば「る・る・る」

▲大館版リカレント教育事業

②暮らしづくりのための取り組み例

▲認知症サポーター養成講座

▲救急医療体制強化

▲コミュニティFMの活用

③ものづくりのための取り組み例

▲スマート林業

▲サテライトオフィス事業

▲第6次産業化支援事業

④物語づくりのための取り組み例

▲移住・交流特設サイト「おおだて暮らし」
(空き家バンク・ふるさとワーキングホリデー)

こ と ば

第6次産業
作物を育てている人たちが(生産者)が、自分たちで加工・販売までを行うことです。

QRコードの掲載について(一例) QRコードから関連するホームページ等にリンクするため、詳細な情報を得られる

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
無形民俗文化財・郷土芸能活動調査支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和59年度～令和8年度

支援事業名 地域文化財総合活用推進事業
伝統文化親子教室事業(教室実施型)
市単独事業

計画に記載している内容 市内には、詳細な調査や研究がなされていない郷土芸能が数多く残っている。無形民俗文化財の保護活動を継続している団体や大館市郷土芸能保存協会と課題を共有し、活動を継続するために必要な支援を行う。また、次代を担う子どもたちへ、郷土芸能や生活文化などを体験できる機会を提供する。

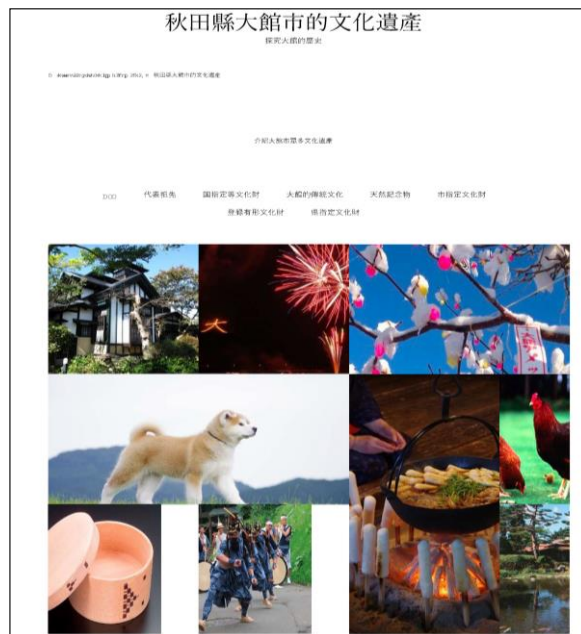
定性的・定量的評価(自由記述)
民間4団体から構成する「大館市文化遺産活用まちづくり実行委員会」において、情報発信事業で文化遺産ホームページに中国語版を作成し、あわせて作成済のリーフレットを公開した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成30年度～令和4年度(5カ年)の事業期間中は、参加団体の募集を継続し、必要な支援を行う。

状況を示す写真や資料等

○地域文化財総合活用推進事業

	活動事業名	事業区分	平成30年度活動実績	令和元年度活動実績	令和2年度活動実績
1	文化遺産ホームページ作成	情報発信	ホームページ概要版作成	ホームページ英語版作成	ホームページ中国語版作成
2	文化遺産パンフレット作成	情報発信	文化遺産リーフレット概要版作成	リーフレット作成(英語版・中国語版)	作成済のリーフレットをホームページに掲載
3	ヘリテージマネージャー育成	人材育成	養成講座13回開催 26人資格修得	ステップアップ講座 シンポジウム開催	ステップアップ講座 工事現場研修会開催
4	秋田の祭囃子シンポジウム開催	普及啓発	祭囃子シンポジウム開催 30人参加	祭囃子講演会開催 40人参加	※コロナ禍で企画中止
5	大館囃子教則映像記録・大館神社例祭記録映像	記録作成	大館囃子映像記録DVD作成		
6	大館囃子講習会開催	後継者養成	講習会9回開催 370人参加	講習会9回開催 422人参加	※コロナ禍で講習中止



文化遺産ホームページ(中国語版)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
地域づくり協働推進支援事業(愛称:地域応援プラン)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域住民の「地域をもっと良くしよう」「住みやすい地域にしよう」という熱意のもとに、まちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

令和2年度地域応援プランにおいて、採択された8団体のまちづくりや地域活性化に取り組む活動に対して支援を行った。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○地域応援プラン取り組み活動(令和2年度実績)

項目	地域	地区	団体名	活動テーマ
ステップアップ	大館	大館	御坂町内会	防災対策を通じた、交流イベントの活性化や地域コミュニティの充実
	大館	大館	有浦町内会	顔の見える地域コミュニティの構築と地域活性化
活動支援	田代	山田	十ノ瀬藤の郷を活用した地域づくりの会	十ノ瀬藤の郷を基軸とした、地域の観光情報の発信及び地域活性化
	田代	岩野目	岩野目地域づくり協議会	田代公民館岩野目分館を活用した地域行事の継続、子どもから高齢者までが集える新たなイベント創出等を通じた地域コミュニティの維持・活性化
	大館	十二所	十二所再発見探訪隊	歴史ある十二所地区の新たな観光資源の創出、交流人口拡大と健康長寿の実現
	大館	矢立	粕田生産森林組合	水芭蕉の生育環境や散策路の整備、登山道の整備などによる憩いの場創出と地域の活性化
	大館	雪沢	茂内屋布町内会(協働団体:NPO法人・小坂レールバイク)	旧小坂鉄道の未利用区間や茂内駅などを貴重な鉄道遺産として活用した、地域の生活環境保全と沿線地域の活性化
計画支援	大館	長木	上代野町内会	旧岱野駅周辺整備・環境美化による、ドーム周辺緑地、樹海公園、桜並木等と一体となった名所の創造。(「あじさいレールロード10年プラン」)



ロゴを表記した看板を製作
(十ノ瀬藤の郷を活用した地域づくりの会による活動)



十二所郷土読本・訳本の発刊記念イベント
(十二所再発見探訪隊による活動)

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
天然記念物(秋田犬)の保存及び育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 昭和54年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 天然記念物秋田犬は、秋田犬保存会により保護や繁殖、普及活動が行われている。大館城本丸跡の桂城公園で開催している全国規模の本部展覧会には、市民や全国・海外から愛犬家が訪れる。近年、登録されている秋田犬の減少や保存会の会員減少が課題となっていることから、その解決に向け取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述)

秋田犬保存会は、第142回秋田犬本部展覧会はコロナ感染拡大防止のため中止となった。令和2年11月3日に第86回秋田県北支部展を、感染予防を徹底し、秋田犬の里で開催した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○秋田犬保存会秋田県北支部展の開催



第86回秋田犬保存会秋田県北支部展
(秋田犬の里)
令和2年11月3日

○課題となっている秋田犬保存会員数や犬籍登録数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1月	82	220	413	324
2月	277	424	629	401
3月	213	548	949	413
4月	612	1,705	1,336	65
5月	1,525	2,904	1,850	0
6月	1,236	2,290	1,144	502
7月	991	2,174	964	783
8月	2,046	3,593	1,943	936
9月	1,072	2,010	1,174	966
10月	1,047	2,003	1,307	992
11月	888	1,302	941	1,030
12月	166	518	360	319
計(人)	10,155	19,691	13,010	6,731
増減	-	93.9%	-33.9%	-48.3%

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
国内	2,310	2,460	2,500	2,590
海外	683	612	606	519
計	2,993	3,072	3,106	3,109
増減	-	2.6%	1.1%	0.1%

秋田犬保存会会員数の推移

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
国内	2,704	2,541	2,591	2,312
海外	3,967	2,284	1,519	1,279
計	6,671	4,825	4,110	3,591
増減	-	-27.7%	-14.8%	-12.6%

秋田犬犬籍登録数の推移

※4/10～5/31コロナ感染拡大防止につき休館

秋田犬博物室の観覧者数の推移

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
伝統的工芸品(大館曲げわっぱ)活動支援事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和8年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統的工芸品の「大館曲げわっぱ」の製造における基本的な技術は、伝統工芸士が受け継いでいる。大館曲げわっぱ協同組合と連携を図り、曲げわっぱの製作体験ができる工房の運営や、伝統工芸の継承活動、商品の販路拡大の支援を行う。また、原材料である天然秋田杉の供給が難しい現状を受け、代替となる原材料の安定的な供給が課題であるため、適材木の研究を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述)

地元産材の利用の促進に関する施策の効果的な推進を図ることを目的に、市が整備する公共建築物等の具体的な目標等を定め、木材利用を促進する施策を盛り込んだ「大館市木材利用促進計画」を令和3年3月に策定した。令和2年12月より市内の出生者を対象とした木製誕生祝い品(秋田杉製玩具2種類)の贈呈を開始した。また、伝統的工芸品「秋田杉桶」についての海外輸出(オーストラリア)の取り組みが開始された。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市木材利用促進計画に基づく施策を展開し、木材利用を通じて伝統的工芸品のPRを図り、販路拡大を目指す。

状況を示す写真や資料等

○大館市木材利用促進計画(令和3年度～5年度)の策定

計画書表紙

計画書概要版
(木材利用促進に関する8つの施策)

○誕生祝い品(木製玩具)の贈呈開始



(上段)誕生祝い品の贈呈開始(令和2年12月8日)

(下段左)秋田犬のプルトイ

(下段右)百年杉の森の積み木

○秋田杉桶製品の海外輸出



オーストラリア・メルボルンへの秋田杉桶輸出
ゼロ・ウェストマーケットでの味噌販売/令和3年2月27日
(KOJI and CO提供写真)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の保存・活用と今後の方針・計画など	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 これまでの調査研究を生かしつつ、現状と実態の把握に努め、収集した情報をデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、市の指定に向けて取り組む。歴史的建造物は、以前に行われた調査の結果を活用し、詳細な調査を行う。無形民俗文化財については、次世代に伝えるための調査・記録保存を継続する。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・鳥潟会館庭園名勝地調査委員会を2回開催し、調査報告書のとりまとめに向けて、資料調査・内容の検討を行った。
- ・ヘリテージマネージャーステップアップ講座において、田代地域、大館西地域、大館南地域の歴史的建造物の地域別調査を行って、報告書を作成した。
- ・無形民俗文化財については、神明社例祭のホームページに中国語版を追加し、国内外に発信した。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・文化財の維持管理には多くの資金が必要で、所有(管理)者の負担も大きい。それだけに天然記念物の再生や、新たな重文を目指す取り組みには、多くの市民の理解や応援が必要であり、社会に還元するための活用にも考慮する必要がある。

状況を示す写真や資料等

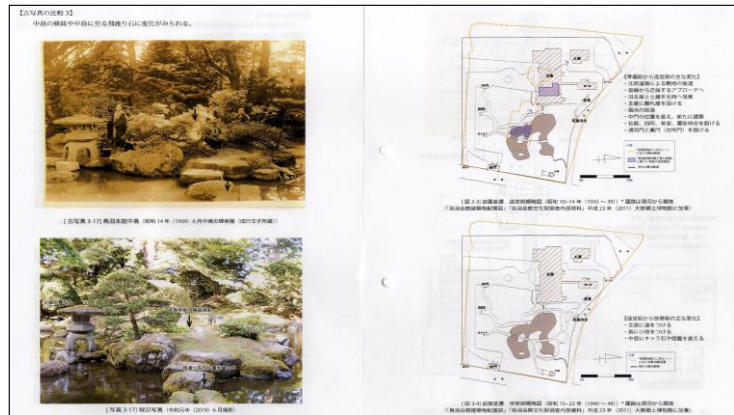
○鳥潟会館庭園の国名勝指定への取り組み

鳥潟会館庭園名勝地調査委員会開催(第2回、第3回)

- ・令和2年12月(書面開催)
 - ・令和3年3月23日(一部リモート開催)
- 調査等の経緯を報告
 今後必要となる資料を協議

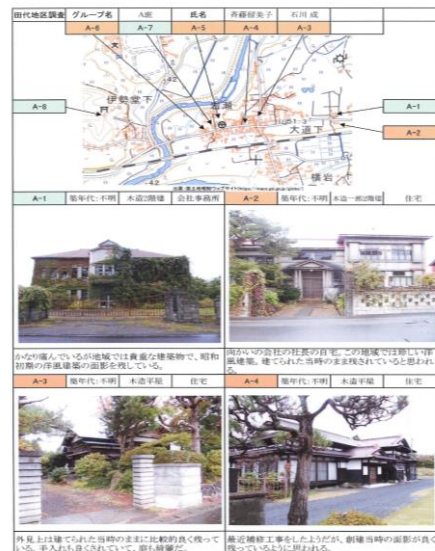


第3回調査委員会(一部リモート開催)



調査報告書(一部抜粋)

○歴史的建造物地域別調査



歴史的建造物地域別調査報告書(田代地域)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財の修理事業、文化財の周辺環境保全事業、防災に関する取り組みなど		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理にあたっては、法令等に基づき、また文化庁等の関係機関の指導を受けつつ整備を行う。また、修理事業等の支援や各種財団等の補助制度の活用について助言を行う。文化財の周辺環境については、周辺の環境と調和のとれたものとする。防災については、防災教育、訓練に取り組む必要があるため、文化財防火デーの取り組みにより、防火意識を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述)			
・県指定文化財の鳥潟会館庭園において、樹木医の診断により危険とされた高木を伐採・除去した。 ・文化財防火デーに重要文化財八幡神社で消防訓練を行い、市消防団員や園児、自主防災組織の地元住民が参加した。(参加者約180人) ・文化財の防犯体制の徹底について、所有者等に指導・助言を行った。			
進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・個人や民間団体が所有する文化財については、補助制度を活用しても相当の負担が必要であるため、修復等を行うのが困難な状況である。公共事業として周辺環境と一体に整備することが望ましい。		
状況を示す写真や資料等			

○鳥潟会館庭園の危険高木の伐採処理



大型クレーン吊による伐採作業状況

○文化財防火デー防火訓練



文化財防火デー消防訓練状況
 重要文化財八幡神社(令和3年1月26日)
 参加者約180人

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発に関する取り組み、埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組みなど	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 文化財関係施設では、定期的なガイドツアーなどを行い、文化財への理解を深める機会を提供している。これまでの活動とあわせて、歴史案内人の育成や、講演会・シンポジウムを開催し、文化財の保護と活用の意識を高めるための事業に取り組む。また、埋蔵文化財包蔵地については、秋田県教育委員会の指導を仰ぎながら、開発に係る事業者などと十分な協議のうえ、その保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述)

- ・大館郷土博物館の7項目の企画事業を実施(入場者数計2,637人)
- ・出前講座を含む各種講座を7回開催(参加数計194人)
- ・発掘調査(1カ所)、試掘・確認調査(11カ所)を実施

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・開発事業者に埋蔵文化財の保護の必要性がまだまだ浸透していない。様々な窓口と連携して、スムーズに埋蔵文化財の確認ができるように取り組む必要がある。

状況を示す写真や資料等

○大館郷土博物館(企画事業・講座名)

	企画事業名	開催期間	入場者数
1	企画展「発掘！大館城跡～令和元年度発掘調査成果展～」	令和2年7月12日～ 令和2年9月22日	652人
2	戸嶋靖昌 ふるさと展	令和2年8月8日～ 令和2年9月22日	623人
3	成田昭夫 日本画展	令和2年10月1日～ 令和2年11月3日	860人
4	無料開放デー(文化の日)	令和2年11月3日	218人
5	「没後50年 革新の日本画家 福田豊四郎」協賛展示	令和2年11月10日～ 令和2年12月19日	140人
6	郷土の本の展示会	令和2年11月21日～ 令和2年12月20日	144人
7	おひなさま展	令和3年2月11日～ 令和3年3月21日	681人

○大館郷土博物館(各種講座)

	各種講座名	開催日	参加人数
1	ふるさと歴史講座「大館の城下町」	令和2年7月9日	12人
2	ふるさと歴史講座「花岡地区の遺跡」	令和2年7月15日	23人
3	長走風穴オンラインツアー	令和2年11月7日	6人
4	鳥潟会館オンラインツアー	令和2年11月14日	12人
5	第1回「大館・小坂」博物館講座(オンライン)	令和3年1月23日	46人
6	第2回「大館・小坂」博物館講座(オンライン)	令和3年2月13日	43人
7	第3回「大館・小坂」博物館講座(オンライン)	令和3年3月6日	52人



企画展「発掘！大館城跡～
令和元年度発掘調査成果展～」
(令和2年7月12日～9月22日)



戸嶋 靖昌 ふるさと展
(令和2年8月8日～9月22日)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
青ガエルを全面塗装「冬期間の耐性強化」	令和2年10月6日	北鹿新聞
青ガエル「ピカピカボディに変身」	令和3年3月26日	北鹿新聞

定性的・定量的評価(自由記述)

忠犬ハチ公の縁により、渋谷区から青ガエルを譲り受け、大正時代の渋谷駅をモチーフに建設された市観光交流施設「秋田犬の里」の広場に設置された。しかし、外部塗装の劣化や冬期間の耐性強化を図るための全面塗装する必要があり、ふるさと納税のガバメントクラウドファンディング(GFC)を活用したところ、たくさんのご寄付を賜り、修復が完了及び再設置により公開となりました。

進捗状況

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

青ガエルを全面塗装



冬期間の耐性強化

大館市 費用の一部「GFC」、寄付募る

11月公開後、補修へ

8月に渋谷から秋田犬の里に移送された青ガエル

大館市の青ガエル「ピカピカボディに変身」

秋田犬の里に再設置 来月8日プレオープン



補修作業を終え設置された青ガエル

(左) 青ガエルを全面塗装「冬期間の耐性強化」
(令和2年10月6日 北鹿新聞)

(右) 青ガエル「ピカピカボディに変身」
(令和3年3月26日 北鹿新聞)

○歴史まちづくりに関連した報道記事(北鹿新聞)

- 令和2年 4月 1日 国道7号電線共同溝、豊町で新規着手
- 令和2年 6月 24日 文化資産まちづくり実行委、事業計画決定
- 令和2年 7月 2日 半夏生の田代岳作占い「平年作」
- 令和2年 7月 14日 八幡神社新覆屋完成「竣工式」
- 令和2年 7月 15日 どこでも博物館総会開催
- 令和2年 7月 17日 扇田神明社例大祭開催
- 令和2年 7月 19日 独鈷大日人社例大祭開催「湯立ての儀式」
- 令和2年 8月 3日 錦神社、中尊寺ハス開花
- 令和2年 8月 24日 御成町南区画整理「電線地中化へ共同溝」
- 令和2年 9月 11日 大館神明社例祭「境内のみに規模縮小」
- 令和2年 10月 6日 ウッドスタート「誕生祝い品完成」
- 令和2年 11月 1日 秋田広域観光フォーラムin大館「広域連携を探る」
- 令和2年 12月 8日 八幡神社Googleストリートビュー「国重文、自宅で気軽に」
- 令和3年 2月 3日 歴まちフォトコンテスト表彰式
- 令和3年 2月 5日 大館駅周辺整備事業「23年度完了目指す」
- 令和3年 2月 23日 歴史的風致維持向上協議会開催「変更認定申請」
- 令和3年 3月 9日 桜櫓館「文化財価値守り補強」
- 令和3年 3月 13日 新庁舎竣工式「末永く愛される建物に」
- 令和3年 3月 23日 バリアフリーまちづくり「移動円滑化方針策定」

項目

シビックプライドの醸成に繋がる地域コミュニティプロジェクトの継続

計画に記載している内容 歴史的風致の維持及び向上する取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながり、歴史的風致の価値が高まるとともに、地域活性化や交流人口の拡大が期待できる。

定性的・定量的評価(自由記述)

映画館「御成座」をきっかけに、相模女子大学社会マネジメント学科と連携し、平成30年度から“大館プロジェクト”として、学生が地域との関わりを大切に、交流するイベントを企画し、地域の宝に光をあてる活動が継続している。令和2年度は、閉校となった大葛小学校を舞台に、ショートムービーの撮影を行い、年度末に「御成座」で地域の方々とパネルディスカッションを行い、大葛の良さを認識するとともに、今後の地域における課題解決に向け意見交換ができた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり
■計画の進捗に影響なし

令和3年度以降も大学と連携し、プロジェクト活動を継続し、外から見た大館の魅力や価値を見出し、情報発信につなげていく。

状況を示す写真や資料等



市内唯一の映画館「御成座」
・昭和30年にオープン
・平成16年に閉館
・平成26年に再開

大葛地区での活動を映像でご紹介!



閉校の大葛小学校で映像撮影
(令和2年10月5日)



地域の方々との意見交換
(令和2年10月7日)



地域の方々との学生のパネルディスカッション
(令和3年3月21日)

“大館 de 宝探し”イベントチラシ
(令和3年3月21日)

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称 : 大館市歴史的風致維持向上協議会(第7回)	
会議等の開催日時 : 令和3年2月22日 ①歴史的風致維持向上計画の変更申請について ②歴史まちづくりの取り組み状況について ③具体化方策の実績・計画について	
(コメントの概要)	
○歴史的風致維持向上計画の認定後、新庁舎建設、秋田犬の里整備や駅前整備など具体化方策が同時進行している中で、景観計画の策定に着手してほしい。	
○桂城公園(大館城本丸跡)修景整備の基本計画策定にあたり、新庁舎を含めて周辺の地区からの動線を考慮し、慎重に検討してほしい。	
○新庁舎から桜櫓館へのアプローチについて、市民や利用者から評判が良く、また桂城公園が憩いの散歩コースになっている。	
○ハード整備が進む中で、やはり人の心を動かすのは人による説明であることから、案内人養成講座などを積極的に取り組んでほしい。	
○次の世代を担う高校生や中学生に町を歩いて好きになってもらい、また案内人として紹介できる人材となってもらふ必要がある。	
○城下町名の標柱整備において、取り上げるべき町名が残っているので、令和4年度以降も引き続き事業展開すべきである。	
○道路美装化にあわせて、周辺にある樹木の景観を整えていってほしい。	
○道路美装化が完成した幸町地区に残っている昭和初期の建物の外観だけでも点景として歴史的雰囲気をもたせたい。	
○大館八幡神社や大館神明社の民間事業者による整備内容について、広く情報発信してほしい。	
○歴史まちづくりにおいて、関係者のご協力のもと、有形無形に関わらず、かなり幅広い分野で多くの事業に取り組んでおり、少しずつ実を結び始めています。その取り組みを、市民の方に幅広く知っていただくために、今後も広報活動とともに更に展開していければと思います。	
(今後の対応方針)	
○具体化方策の実現に向け、関連団体や関連部署と引き続き意見交換を積み重ね、歴史的風致の維持向上を図る。	
○歴史まちづくりの取り組み状況や具体化方策の整備内容などについて、歴まち散歩や出前講座の開催を通して広く周知する。あわせて広報やホームページを活用し、情報発信を図る。	